

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは、社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々*に対し、揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第44期（平成24年4月1日～平成24年9月30日）中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の復興需要により公共投資が増加するなど内需を中心に国内景気は底堅く推移しておりますが、欧州債務問題や中国経済の減速など海外市場の不確実な影響を受け、依然として先行き不透明な状態にあります。

このような状況の中、当社は前年に引き続き、仮設現場事務所や仮設店舗、仮設宿舍など、被災地の需要に優先的に対応するとともに、展示場の新規出店を引き続き強化するなど販売チャネルの拡充に努めてまいりました。また、生

産能力の増強を図り、全国的なレンタル・販売の需要増に対応すべく努めてまいりました。

必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提供する——当社のユニットハウスは、従来の仮設建設市場のみならず、ここ数年来開拓を続けてきた本建築市場・不動産市場においてもその優位性を十分発揮できるものと確信しております。“建築の工業化”という当社のコア技術をさらに高めていくことにより新たな市場の開拓を図っていく所存です。

今後とも創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピリッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指し、失敗を恐れず情熱をもって活動してまいります。

当事業年度（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の業績について

各事業の概況について、ご報告いたします。

ユニットハウスのレンタルにおいては、震災復興需要が旺盛な東北地域のみならず、他地域においても出荷は好調に推移しました。また、電気配線および電気設備をユニットハウスと一体化しリユース可能にした配電システムを開発し、平成23年度に開発したエアコンシステムとともに本格的に市場へ導入することにより、付帯工事の受注獲得に努めました。トランクルームにおいては、新たに24店舗を出店するなど売上拡充に努めました。その結果、当第2四半期連結累計期間のレンタル料収入は6,672百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

ユニットハウスの販売においては、当社直営の展示場を12店舗出店し、販売チャネルの拡充に努めるとともに、オフィスや店舗など本建築物件の受注に注力いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の製品売上高は4,940百万円（前年同期比39.3%減）となりました。

その他の事業については、当第2四半期連結累計期間の売上高は76百万円（前年同期比5.0%減）となりました。上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,688百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

なお、前年実績に東日本大震災の仮設住宅建設の売上高が含まれているため、前年同期比は減少となっておりますが、期首の計画を上回る結果となりました。

利益面においては、営業利益1,695百万円（前年同期比46.8%減）、経常利益1,787百万円（前年同期比43.7%減）、四半期純利益1,040百万円（前年同期比37.9%減）になりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓していくことで業績の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長 長妻貴嗣